

校内研修計画

甲州市立東雲小学校

1. 学校課題

本校の児童は明るく素直で、友達と仲良く協力して活動したり、決められたことに真面目に取り組んだりすることができる。縦割り活動をはじめとする児童会活動では、上級生が下級生の面倒をよくみており、そのことが次の学年に引き継がれている。また、児童会が中心になってあいさつの取り組みを続けることで、学校や地域でもあいさつを交わす様子が見られるようになっている。

学習では、課題に対して丁寧に取り組み、よく考えて学ぶ様子が見られる。今日的な課題や甲州市「確かな学力」育成プロジェクト事業の取り組みの一つであるQ-U検査の実践などを踏まえて、学級集団づくりを基盤に取り組んでいる。しかし、Q-U検査とNRT検査のクロス集計では、授業の中で二次支援、三次支援が必要とされる児童が、各クラスに少なからずいることも明らかになっている。そのような児童の実態を踏まえ、学ぶ意欲をもって学習に取り組めるように共に学ぶ学習集団をつくっていくことが大切だと考える。

また昨年度より取り組んでいる道徳科においても「考え議論する道徳」【自分の考え方、感じ方を明確にし（主体的な活動）、多様な感じ方や考え方と出会い交流する中で自分の考え方を深め、判断し、表現する力を育む（言語活動の充実）】を目指し、学校教育目標「自ら学び 心豊かに生きる 児童の育成」に向けた教育活動を進めていく。

2. 研究主題

「自ら考え判断し、意欲的に学習する児童の育成」

～ 互いの考えの交流を大切にしたい道徳の授業づくりと児童の見取り ～

3. 主題設定の理由

昨年度より、「自ら考え意欲的に学習する児童の育成」の研究主題のもと、新たなサブテーマとして「互いの考えの交流を大切にしたい道徳の授業づくり」を設定し、「特別の教科 道徳」について授業づくりを中心に研究を進めてきた。

- ① 思考を深める教材の工夫
- ② 学び合いを深めるための手立て
- ③ 自分との関わりの中で深める手立て

を意識した授業づくりを行い、ねらい達成のために「目標の設定」や「中心発問」は適切であったか、「互いの考えを交流する場の持ち方は有効であったか」などを研究の視点に指導の改善につなげようと努めてきた。

昨年度の課題として、今年度は「考え議論する道徳」に迫るために「評価」に視点を当てていくという方向性が出されていた。「道徳科の評価」については、学習指導要領解説「特別の教科 道徳編」第5章道徳科の評価に

第2節 道徳科における児童の学習状況及び成長の様子についての評価

第3節 道徳科の授業に対する評価

が挙げられている。授業に対する評価については昨年度の研究でも取り組んできたが、今年度は特に、第2節「児童の学習状況及び成長の様子についての評価」を研究していきたいと考える。

組織的、計画的な評価の推進として

- ① 学年ごとに評価のために集める資料や評価の方法等を明確にしておく
- ② 評価結果について教師間で検討し評価の視点などについて共通理解を図る
- ③ 評価に関する実践事例を蓄積し共有する

などが示されている。道徳の授業づくりを研究の中心にしながら、そこに「子どもたちの何を、どのように見取って

いったらいいのか」という視点を意識して研究を進めていくことで道徳科の目標に迫り「自ら考え判断し、意欲的に学習する児童の育成」につなげていきたい。

4. 研究の具体的内容と方法

(1) 具体的内容

○特別の教科道徳における「考え議論する道徳」を意識した授業づくり（理論研究・実践・検証）

①思考を深める教材教具の工夫

②学び合いを深めるための手立て（発問・話し合い・書く活動・表現活動）

③自分との関わりの中で深める手立て

○「児童の学習状況及び成長の様子についての評価」についての研究

○児童の実態把握（NRT検査、Q-U検査）とK13簡易法を用いた学級づくり

○日常的な取り組みの共有

(2) 研究の方法

①講師を招いての学習会

②授業研究会（1回）

③一人一実践授業の提供

5. 年間校内研修計画

研究主任 田邊 珠紀

実施月日		研修内容（領域）		担当・学年	T・C 類
4	8	第1回	研究の方向性について	研究主任	
	15	第2回	校内研修計画について	研究主任	
	24	第3回	家庭学習の取り組みについて Q-Uについて	研究主任	
5	13	第4回	学習会	研究主任	○
	27	第5回	NRT検査結果分析 Q-U事例検討会 アタックシートの作成	各学年	
6	3	第6回	道徳の評価について	研究主任	
7	8	第7回	部会研究	部会長	
8	19	第8回	教育課程説明会の環流報告会（学習会） 部会研究	教科主任・研究主任	○
9	2	第9回	一校一実践について	研究主任	
	9	第10回	部会研究	部会長	
10	7	第11回	部会交流・評価について	部会長	
	21	第12回	授業案検討①（第5学年）	第5学年担任	
11	11	第13回	授業案検討②（第5学年）	第5学年担任	
	18	第14回	Q-U事例検討会 アタックシートの作成	各学年	
	25	第15回	研究授業（第5学年）	第5学年担任	○
12	2	第16回	部会研究	部会長	
	9	第17回	部会研究会（部会研究のまとめ）	部会長	
1	27	第18回	研究の成果と課題について	研究主任	
2	17	第19回	来年度の研究の方向性について	研究主任	
3	3	第20回	研究紀要の原稿作成	各学年	
	10	第21回	研究紀要の作成	研究主任	

※研究テーマに沿って全員が授業実践を行い、参観、交流することにより、研究を深める。